

# 理研シンポジウム

## 第12回 分析・解析技術と化学の最先端

日時：平成23年12月13日(火) 12:50-17:45

場所：理化学研究所 鈴木梅太郎記念ホール（和光市広沢2-1）

参加費：無料 協賛：日本化学会, 日本農芸化学会, 日本薬学会

新規希土類触媒の開発と高選択的高分子合成への応用

西浦 正芳 理研ASI

固体NMR法による高分子結晶のミクロな世界

三好 利一 The University of Akron

高分解能TOFMSによる機能性有機材料の詳細構造解析：  
技術開発の実際と将来展望

中島 陽司 旭硝子・中研

LC/MSを用いた海洋天然物に関する最近の研究

山下 まり 東北大院農

質量分析で観るタンパク質の姿

明石 知子 横浜市大

ピラノシドのエキソ・エンド開裂反応に関する理論研究の  
最近の成果について

佐藤 寛子 国立情報研

インドロカルバゾール生合成酵素群の結晶構造から見えて  
きた生合成の仕組みと戦略

永野 真吾 鳥取大院工

18:00 ~ ミキサー：広沢クラブ 会費：3,000円（学生:1,000円）

問合せ先・参加申込み先：〒351-0198 埼玉県和光市広沢2-1

独立行政法人理化学研究所 基幹研究所 ケミカルバイオロジー研究基盤施設  
物質構造解析チーム 越野広雪 (Tel. 048-467-9361, E-mail:koshino@riken.jp)